

平成29年10月3日

保護者様

千曲市立上山田小学校長

中澤 英治

平成29年度千曲市立上山田小学校 第1回学校評価のまとめ

過日は、保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。報告が遅れてしまい、すみません。ここに、第1回学校評価のまとめを報告させていただきます。

今年度、上山田小学校では、児童・保護者に同様なアンケートを行い、それぞれの学校運営に関する感じ方や考え方を知ることができた。結果を分析しながら、本校の教育活動や学校運営などの課題を検討していくとともに、今後、必要な改善を継続的にを行い、「信頼される学校づくり」に向けて努力していきたい。

今年度から、学校評価のまとめは、評価をわかりやすいものにするために、A「とてもそう思う」を5点、B「そう思う」を4点、C「普通」を3点、D「あまりそう思わない」を2点、E「全く思わない」を1点として得点化（数値）した。したがって、満点が5.0点となり、平均点を3.0点とした。

【表の見方】評価1の児童を例に

$$5点 \times 0.43 + 4点 \times 0.18 + 3点 \times 0.15 + 2点 \times 0.12 + 1点 \times 0.12 = 3.68点$$

数値の単位は「点」、A～Eの単位は「%」

1	評価項目	数値	A	B	C	D	E
児童	家の人に「おはよう」「おやすみなさい」の挨拶をしている。	3.68	43	18	15	12	12
	学校に来た時、先生や友だちに「おはよう」の挨拶をしている。	4.44	65	20	10	4	1
	地域の人に「おはよう」「こんにちは」の挨拶をしている。	4.36	60	23	11	5	1
保護者	お子さんは、家庭や地域の中で明るく挨拶ができています。	3.38	33	37	26	3	1
成果	・校長が、毎日通学路を回りながら挨拶運動を行ったり、毎朝、教頭、庁務員、児童会や先生方が児童昇降口に立ってあいさつをしたりしている。また、代表委員会があいさつ当番を毎日昇降口や教室訪問で行ったり、あいさつ運動で「ワンランク上のあいさつ」を呼びかけたりするなどしている。このように、学校全体で「挨拶」を大切に考え、取り組んでいる成果として、高い数値となった。						
課題	・児童の学校や地域の人への挨拶に比べ、家の人への挨拶の数値がやや低い。したがって、保護者の評価もおよそ同様の数値となっているか。家庭での挨拶も大切に考えたい。 ・学校での数値が高いが、挨拶にやや消極的な児童もいる。「挨拶は認め合い、思いやりのバロメーター」「挨拶はコミュニケーション力・学力と相関関係にある」を再度確認して、取り組んでいきたい。 ・朝の挨拶のよさを授業の開始、終了のあいさつにもいかしていきたい。						

2	評 価 項 目	数値	A	B	C	D	E
児 童	学校で友だちと勉強したり遊んだりすることは楽しいですか。	4.39	65	16	13	5	1
保護者	お子さんは、楽しく学校へ登校している。	4.42	61	24	12	2	1
成 果	・児童、保護者とも評価、数値が高い。笑顔で登校してくる児童、元気に教室に入ってくる児童が多く、充実している様子が感じられる。時には、友だちとのトラブルもあるが、その中から人との関わり方を学んでいる。 ・4月と7月にQ-U調査を行い、学級の様子を把握し、改善に取り組んでいる。次の月の初めに前月の学校生活しらべを行い、そこで掴んだ情報をもとに担任が相談、調整を行っている。 ・授業改善に取り組んだり、行事をいかした授業を展開したりしている。						
課 題	・児童、保護者の数値は高いが、「E」と回答している子どもや保護者がおり、一人一人に配慮した対応を求められている。						
3	評 価 項 目	数値	A	B	C	D	E
児 童	授業は、分かりやすいですか。	4.23	48	31	18	2	1
保護者	教師は、子どもが分かりやすい授業をしている。	4.4	53	36	9	2	0
成 果	・児童、保護者とも評価・数値とも高く、達成感があるか。学校では、授業改善を目指し、研修を行ったり、一人一公開授業を行ったりしている。その中で、目の前の子どもたちを見て実態を把握し、どのような力をつけたらよいか明確にし、そのためには、どのようにアプローチしたらよいかを仮説を立てながら臨んでいます。これらの成果が今回の数値に表れていると共に、NRT検査においても全国平均を上回る成果となって出てきている。						
課 題	・いかに教師の指示を少なくするか、教師による一方向的な講義形式の授業ではなく、子どもたちの主体的に学習に取り組むために「学び合い」を中核に据えた授業を行ったり、ユニバーサルデザインを取り入れたりしながら、子どもと共につくる授業を創造していく。						
4	評 価 項 目	数値	A	B	C	D	E
児 童	家で宿題や自分で考えた勉強をしていますか。	3.72	44	15	15	21	5
保護者	お子さんは「10分×学年+α」の時間を目安に家庭学習を行っている	3.33	21	26	28	15	10
成 果	・児童の数値が高く、達成感があると思われる。教職員からも「与えられた課題についてはほとんどの子どもが取り組んでいる。」「個人差もあるが、宿題をしっかりとやっている。」という声があった。						
課 題	・「やる子はやるが、やらない子はやっていない。」「しっかりと取り組める子と、あいまいにってしまう子の差が大きいように思う。」という声があり、児童で5%、保護者で10%の方が「E」と評価していることから裏付けられる。 ・「10分×学年+α」の時間、家庭学習にかかわるためには、授業とリンクした予習や復習、「斜面」の書取、読書など具体的な課題を示す必要がある。						
5	評 価 項 目	数値	A	B	C	D	E
児 童	お家の人に、学校であったことを話していますか。	4.01	45	33	5	12	5
保護者	お子さんは、家庭で学校の話をよくする。	3.78	32	27	29	11	1
成 果	・児童・保護者とも数値が高く、学校の様子を話していることがうかがえる。						

課題	・「D」「E」と回答した児童・保護者もいる。学校としては、連絡帳で多くを伝えるのではなく、「また、お家で聞いてみて下さい」と一言添えて伝え、会話の機会を増やすなどの手立てをしていく。						
6	評価項目	数値	A	B	C	D	E
児童	誰とでも仲良く話したり、遊ぼうとしたりしていますか。	4.23	52	25	18	4	1
保護者	お子さんは、分け隔てなく友だちと接している。	4.06	38	36	21	4	1
成果	・児童・保護者とも、数値・評価がとても高い。担任の先生方の個に応じた対応・配慮によって学級経営がなされている表れととらえることができる。また、Q-Uの活用、生活調べにかかわる相談などの効果もあるか。さらに、保護者の数値・評価が高いことから、保護者の関心が高く、児童へ意識付けを行ったり、学校と連携したりしている表れととらえることができる。						
課題	・「D」「E」の評価もあるので、より個に応じた対応を行っていく。						
7	評価項目	数値	A	B	C	D	E
児童	交通ルール、自転車のルールを守っていますか。	4.45	66	19	10	4	1
保護者	お子さんは、交通ルールを守って登下校したり自転車に乗ったりしている。	4.15	39	40	19	1	1
成果	・児童・保護者とも、数値・評価ともに高い。1学期末に市内で大きな事故があった。上山田の子どもを守る会の皆様のおかげもあり、登校中の事故はない。しかし、本校学区内の交通事情は大変厳しい。交通量が多く、坂道も多い。十分気を付けてさせたい。						
課題	・全体としては、数値・評価とも高いが、意見・要望の中には、自転車の乗り方がよくないという指摘がある。自転車の乗り方については、気をゆるめず指導をしていく。 ・他にも、下校時に道に広がって歩いたり、自転車のスピードを出しすぎたりする子どもがいるという情報をいただいたことがある。						
8	評価項目	数値	A	B	C	D	E
保護者	学校は、ホームページ、校長通信、学校だより、学年だより等で、学校の様子をわかりやすく伝えようとしている。	4.46	56	35	8	1	0
成果	・高い数値を示しており、評価は高い。2学級ある学年では学級だよりも発行している。校長通信も頻繁に発行している。学校だよりも今年度から毎月発行している。さらに、校長通信、学校だよりは上山田地区に回覧するようにした。さらにまた、係がホームページの更新を頻繁に行っており、タイムリーな話題、子どもの姿を発信している。このようにたくさんの発信源を活用していることが高い数値になって表れている。						
課題	・今後も、様々なツールを活用して学校の様子を、保護者や地域に発信していく。ホームページが頻繁に更新されているので、それを広めていきたい。						
9	評価項目	数値	A	B	C	D	E
保護者	学校は保護者や子どもからの相談に対して適切に対応している。	4.46	53	39	7	1	1
成果	・高い数値を示しており、評価は高い。学校であった事実を早急に伝える先生や保護者の相談に対して親身になる先生、相談内容を受けて活動を考える先生など丁寧に対応していることが評価されている。						
課題	・今後とも、保護者との信頼関係を築き維持していくことを大切にして、自分ができる範囲の						

平均点を3.0点とすると、どの項目についても、保護者、児童とも高い数値を示しており、学校の取組が評価されていると考える。中には、「先生方の生徒に対する熱意を感じています。その熱意の中で育まれる子ども達は幸せです。」「先生同士の横のつながりがしっかりしていらっしゃるので、安心して子どもを預けられております。」という意見もいただいた。この陰には、家庭、地域のご理解・ご協力があればこそだと考える。

平成32年度から完全実施となる新しい学習指導要領への対応に関する不安や休日の体育館使用、体操着や参観日等に関する意見をいただきました。検討させていただきたいと思います。

また「自転車の交通ルールが悪い。下校後自転車に乗っている子どもに何度か注意しましたが、学校からの指導をお願いします。」という意見をいただきました。学校では、春と秋に交通安全教室を実施し、安全な歩行・自転車乗りについて実際に指導しています。今年度は、1学期末に市内で大きな事故が起きたことやこのようなご意見を地域の方からもいただいていることを受けまして、指導を強化しております。全校集会を開き、校長による交通安全指導も行いました。秋の交通安全教室では、交通安全センターから講師を招き、歩行（1・2年）と自転車乗り（3～6年）に分かれて指導していただきました。保護者の皆様も、危険な場面を見かけましたら、ご指導をお願いしたいと思います。上山田小学校の子どもたちの命を守るために。